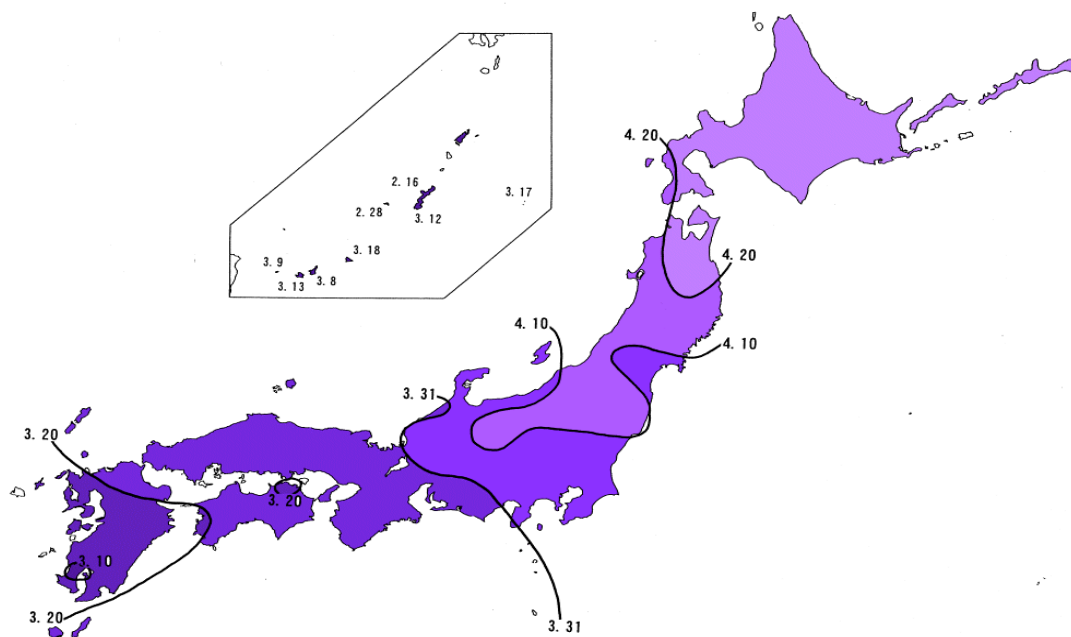


# ツバメの初見日



ツバメの初見日とは、春に入る頃渡来したツバメを初めて見た日をいいます。  
関東以西では越冬するツバメもあるといわれていますが、これは観測の対象としません。  
ツバメはスズメよりやや大きく、その尾は長く二つに分かれています。頭から背にかけてと翼は光沢のある黒色で、額から喉にかけては栗色、栗色に接して首飾りの様に黒い帯があり、胸から腹部にかけては白色です。

ツバメ初見日の等期日線図  
(1971~2000年 平年値)



ツバメの初見は、2月中旬から沖縄地方で始まります。3月20日に九州地方北部・四国地方の一部・九州地方南部を結ぶ地域、3月31日に北陸地方、東海地方を結ぶ地域、4月10日に北陸地方・関東甲信地方・東北地方南部を結ぶ地域、その後、東北地方北部を北上し4月下旬に北海道地方に達します。